



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 愛眼株式会社

コード番号 9854 URL <http://www.aigan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下條 三千夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐々 昌俊

TEL 06-6772-3383

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	12,690	4.6	233	—	307	—	233	—
27年3月期第3四半期	12,134	△3.6	△305	—	△250	—	△873	—

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 269百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △850百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	12.01	—
27年3月期第3四半期	△45.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	18,171	14,705	80.9
27年3月期	17,429	14,436	82.8

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 14,705百万円 27年3月期 14,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,614	3.9	49	—	111	—	12	—	0.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	21,076,154 株	27年3月期	21,076,154 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,667,206 株	27年3月期	1,666,846 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	19,409,190 株	27年3月期3Q	19,409,578 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続いているものの、米国の利上げ局面に入ったことや中国経済の減速と原油価格の下落に起因する不安定な株価・為替相場情勢に加え、消費者マインドは実質所得の伸び悩みを背景として回復が遅れており、個人消費動向は依然として先行き不透明な状況にあります。一方、眼鏡小売市場におきましては、お客様の節約志向が続く中で、同業者間の販売競争・価格競争などによる厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、「NEW愛眼プロジェクト」で築き上げた営業基盤を有効に活用し、顧客視点による商品開発とサービスのレベルアップ、営業体制の効率化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、眼鏡小売事業の既存店売上が回復基調に転じたことにより、売上高は12,690百万円（前年同四半期比4.6%増）、売上総利益率は0.8%増となりました。一方、営業経費は、人件費などが増えたものの、広告宣伝費や改装経費などの支出を抑えることによって売上高に対する販売費及び一般管理費比率が3.5%改善いたしました。これらにより、営業利益は233百万円（前年同四半期は営業損失305百万円）、経常利益は307百万円（前年同四半期は経常損失250百万円）、税金等調整前四半期純利益は305百万円（前年同四半期は税金等調整前四半期純損失799百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は233百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失873百万円）となりました。今後ともお客様の支持が得られる店づくりの推進と一層のコスト削減に取り組み、収益基盤の強化に努めてまいります。

当社グループにおける報告セグメントごとの状況は次のとおりです。

[眼鏡小売事業]

当社グループの中核である国内眼鏡小売事業においては、2012年から「NEW愛眼プロジェクト」をスタートさせ、お客様の嗜好やライフスタイルを踏まえた「アイスタイリング・サービス」を掲げた事業戦略を進めており、ビジュアルアイデンティティによる統一性のあるブランド訴求、メガネ一式価格「スマートプライス」による明瞭な価格表示、お客様のニーズを取り込んだオリジナルブランド品の提供、各種マス媒体やTポイントを活用した広告宣伝などさまざまな営業施策に取り組んでまいりました。今年度は、今まで強化してきた商品、サービス、店舗、人材を始めとする営業基盤を根幹に、「NEW愛眼プロジェクト」によって増加したニューファミリー層やヤング層に対する取り組みを継続しつつ、従来から固定客の中心を占めるミドル・シニア層のお客様に照準を合わせた商品・技術・接客面のアプローチを強化・推進しております。

売上高に関しては、幅広い年齢層のお客様のニーズを取り込んだ新商品の開発・投入並びに素材・機能面で付加価値を高めた商品の品揃えの拡充により販売単価が改善し、売上高は堅調に推移いたしました。また、補聴器販売は、当社の強みであるカウンセリング力を活かし、好調に推移いたしました。一方、売上総利益率は、オリジナル品の商品構成の引き上げや高付加価値商品の品揃えの強化などを進めた結果、改善いたしました。

店舗に関しては、国内で当第3四半期連結累計期間に3店舗を新設、6店舗を閉鎖し、3店舗で改装を実施いたしました。また、店舗と本部の業務プロセスの効率化・省力化を図るためPOS導入を進めており、平成28年春に本稼動を予定しております。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は12,033百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益は283百万円（前年同四半期はセグメント損失242百万円）となりました。

[写真館事業]

当社直営の「愛写館」3店舗による写真館事業は、子供から大人までの幅広い年齢層のお客様の記念写真・家族写真の撮影、美容着付け、貸衣装を行っており、さまざまな写真撮影メニューを豊富に取り揃えた総合写真館として営業しております。当第3四半期連結累計期間においては、七五三、成人式、卒業式などの記念イベントに向けた集客活動に注力いたしました。特に七五三撮影においては、お客様ご自身が自宅のパソコンでプリントしたり、年賀状を作成することができる新商品の「写真画像オールデータ販売」の撮影プランが好調に推移いたしました。

この結果、写真館事業における売上高は、店舗数が前年同期より2店舗減少したことも影響し、98百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント損失は18百万円（前年同四半期はセグメント損失53百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は18,171百万円、負債合計は3,465百万円、純資産合計は14,705百万円となりました。前連結会計年度末に比べ負債合計が472百万円増加し、純資産合計が269百万円増加した結果、自己資本比率は80.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,702	5,273
受取手形及び売掛金	753	838
商品及び製品	2,355	2,346
原材料及び貯蔵品	29	38
その他	130	305
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	7,964	8,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,162	1,125
土地	1,900	1,900
リース資産（純額）	68	87
その他（純額）	23	67
有形固定資産合計	3,155	3,181
無形固定資産		
リース資産	—	146
その他	—	28
無形固定資産合計	—	175
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,883	3,705
投資有価証券	1,686	1,617
その他	739	698
投資その他の資産合計	6,309	6,020
固定資産合計	9,464	9,377
資産合計	17,429	18,171

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540	804
1年内返済予定の長期借入金	60	60
未払法人税等	118	105
賞与引当金	—	27
その他	1,083	1,219
流動負債合計	1,802	2,217
固定負債		
長期借入金	285	245
繰延税金負債	69	87
再評価に係る繰延税金負債	6	6
資産除去債務	350	346
リース債務	298	389
その他	179	173
固定負債合計	1,190	1,248
負債合計	2,993	3,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	5,312	5,545
自己株式	△1,050	△1,050
株主資本合計	16,702	16,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	199
土地再評価差額金	△2,471	△2,471
為替換算調整勘定	45	42
その他の包括利益累計額合計	△2,265	△2,229
純資産合計	14,436	14,705
負債純資産合計	17,429	18,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,134	12,690
売上原価	3,826	3,892
売上総利益	8,307	8,797
販売費及び一般管理費	8,612	8,563
営業利益又は営業損失(△)	△305	233
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	11	13
受取家賃	39	49
その他	43	37
営業外収益合計	110	115
営業外費用		
支払利息	3	3
固定資産除却損	15	3
賃貸費用	33	29
その他	3	5
営業外費用合計	55	41
経常利益又は経常損失(△)	△250	307
特別利益		
投資有価証券売却益	0	33
特別利益合計	0	33
特別損失		
投資有価証券売却損	—	1
減損損失	548	34
特別損失合計	548	35
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△799	305
法人税、住民税及び事業税	75	73
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	74	72
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△873	233
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△873	233

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△873	233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	38
為替換算調整勘定	2	△2
その他の包括利益合計	23	36
四半期包括利益	△850	269
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△850	269
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	眼鏡小売	写真館	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,467	102	11,569	564	12,134	—	12,134
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	58	58	△58	—
計	11,467	102	11,569	622	12,192	△58	12,134
セグメント損失(△)	△242	△53	△296	△2	△298	△6	△305

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、卸売事業等であります。

2 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用△17百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出
会社の費用です。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	眼鏡小売	写真館	その他	全社・消去	合計
減損損失	368	4	—	175	548

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	眼鏡小売	写真館	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,033	98	12,132	557	12,690	—	12,690
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	63	63	△63	—
計	12,033	98	12,132	621	12,753	△63	12,690
セグメント利益又は損失 (△)	283	△18	265	△3	262	△28	233

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、卸売事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△38百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	眼鏡小売	写真館	その他	全社・消去	合計
減損損失	34	—	—	—	34